

<コロナ禍でのボランティア活動について>

2020年10月記
関西支部事務局

コロナ禍において、さまざまな工夫・アイデアを凝らして感染拡大を防止しつつ、ボランティア活動を再開された会員の皆さんの近況をお届けします。

【司馬遼太郎記念館】

緊急事態宣言が解除された直後の、6月2日(火)から開館し、企画展が順次公開されています。来館者がゆっくりとした時間を過ごされています。

感染予防の対応としては①館内消毒を定期的を実施。②マスク着用の入館。③アルコール消毒液を設置。④距離を保ってご見学——などについてお願いしています。

ボランティアは、午前・午後計6チームが「正門での来客者への案内」「入館券受け取り」「展示スペースでの監視」の役割を、3密を避けながら果たしています。



ボランティア仲間との再会は、長引く自粛生活の余波でのストレスを解消でき、何事にも代えがたい効用があります。

【旧三井家下鴨別邸】

5月25日(月)より再開、ボランティアスタッフについては、6月20日(土)より活動を再開しました。

マスク着用のほか、お客様の触れる場所(椅子・ドアノブ等)を除菌しています。また、「京都市新型コロナあんしん追跡サービス」にも参加しています。

ボランティアの活動は、来館者の誘導・案内、喫茶コーナーの接客補助等の他、お庭の草取りや散水なども担い、来館者が安心して過ごせるよう心がけています。

来館者は、別邸YOGAや能楽講座等のイベントに参加されたり、美しいお庭を眺めたりしながら、かき氷、京菓子和抹茶等季節の移り変わりを楽しんでいます。



【キッズプラザ大阪】

大阪府の休業要請の解除を受け、6月4日(木)より再開館、インタープリター(ボランティア)については、説明会を行った後、6月30日(火)より活動を再開しました。

感染症対策として①当面の間、一部展示物やワークショップの利用を中止または制限。②来館者とインタープリターを含むスタッフのマスク着用・検温・アルコール消毒——などを徹底しています。「大阪コロナ追跡システム」への登録もお願いしています。

インタープリターは、子供たちに展示やプログラムの紹介、解説を行い興味や関心を引き出すスタッフですが、現在は来館者との距離を保ちながら活動し、子供たちが安心して楽しめるよう努めています。



【大阪府済生会中津病院】

緊急事態宣言は5月25日(月)に解除されましたが、活動休止を継続し、6月15日(月)より、一部の人と接することのない活動<図書整理作業、活動時間集計等事務支援、季節感あふれる折り紙手作り・園芸、館内美化清掃>を再開しました。



その後、情報ライブラリー(患者図書室)も開館時間を月・水・金 10時~13時に短縮して再開しています。

入院患者さんにとって食事に添えられる手作りの折り紙は、季節の移り変わりや院外の景色を感じる機会にもなっています。また、病院周辺の花壇が生き生きとして、「癒やされ笑顔になれる」と喜ばれています。

【穂谷里山保全活動】

大阪府枚方市の最東部に位置する穂谷里山地区にて、農業体験をしながら環境保全のボランティア活動に参加しています。「にほんの里100選」にも選ばれたことのある美しい自然の中で自分の存在意義が確認でき、テレワークや自粛生活における不安やストレスへの解消法にもなっています。

◎10月25日(日)新型コロナ対応で、今年4回目の正式活動<タマネギの苗植え付け作業>を行いました。

良い天候に恵まれ、今年4回目の活動を行いました。

最初に、長くなっているタマネギの根を植え付けやすいように短く揃えていきます。次に苗を植え付けるために用意された黒マルチの穴の開いたところへ、1本ずつ植え付けていきます。参加者6名で約1,300本植え付けました。来年春の収穫が楽しみです。

